

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	環境汚染物質以外の因子に関する健康影響基礎調査費		担当部局庁	環境保健部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～		担当課室	環境安全課	牧谷 邦昭			
会計区分	一般会計		政策・施策名	7 環境保健対策の推進 7-4 環境保健に関する調査研究 9 環境政策の基盤整備 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境汚染物質以外の因子で健康影響の可能性が疑われる事象について基礎調査及び普及・啓発等を実施することを目的としている。具体的事象としては、電磁界の影響及び熱中症等を対象としている。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	1. 電磁界による健康影響 最新の知見や各国の取組等について情報収集を行うとともに、収集した情報について整理して、一般へ分かりやすく情報提供を行う。 2. 熱中症 近年の地球温暖化や大都市のヒートアイランド現象が進んできていること等を踏まえ、最新の知見を収集し、環境保健マニュアルやリーフレット等を作成、配布等を行い、一般への情報提供及び意識啓発を進める。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	3	3	3	3	1	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	3	3	3	3	1	
	執行額	4	9	6				
執行率(%)		133%	300%	200%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	当事業では、情報収集及び普及啓発等を実施しているが、普及啓発の進捗状況等を評価するための国民の意識調査等は実施しておらず、数値目標の設定や評価は困難				-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	熱中症についての普及啓発のための環境保健マニュアルやリーフレット等の印刷部数			部	73,244	834,000 (412,000)	- (1,406,000)	- ()
単位当たりコスト	37(円/1部)		算出根拠	熱中症についての普及啓発のための熱中症保健マニュアルやリーフレット等の単価実績の平均値				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	公害調査費	3	1					
	計	3	1					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁界ばく露に関する健康影響については、WHO環境保健クライテリアのとりまとめが進められており、我が国でもこうした国際的な情報を踏まえて適切な対応を図る必要がある。 ・熱中症については、近年の地球温暖化や大都市のヒートアイランド現象が進み、猛暑により平成22年度には熱中症による患者・死亡者が急増、さらに夏季の電力不足が生じ、節電対策が求められる懸念が続く中で、より一層の対策の充実が求められている。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・入札により事業実施機関を選定。環境省職員が事業の進捗状況や成果について把握し、適正に履行されたことを確認。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁界の知見を取りまとめた冊子「身のまわりの電磁界について」を改訂し、その内容について広く周知を図った。 ・高齢者向けのリーフレット等を新たに作成し、熱中症環境保健マニュアルや携帯用カード、掲示用リーフレットを自治体、老人保健施設や教育機関等に広く配布するとともに、ホームページ上で情報提供を行っている。 		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>電磁界については、平成23年度に発表されたIARCの高周波電磁界による発がん性評価をはじめとする最新の知見や国際機関及び諸外国政府の取組等について情報収集を行い、平成24年3月、これらをまとめた小冊子の改定、公表を行った。</p> <p>熱中症についての知見の収集進めるとともに、マニュアル等を用いて更なる普及啓発を進めることができた。しかし、平成22年度の猛暑により熱中症による死者が大幅に増加し、平成23年度以降、電力不足による節電対策下の対応も求められる中、今後、一層の普及啓発を進める必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業的全体善の抜本	熱中症にかかる普及啓発事業については他事業との重複がみられることから統合について検討すべき					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	所見を踏まえて、熱中症にかかる普及啓発事業については、315「熱中症対策緊急推進事業」に統合し、予算額を縮減した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	292	平成23年	230	平成24年	239

環境省
6.1百万円

「熱中症予防カード、リーフレット、マニュアル」の整備・配布
「熱中症予防カード、リーフレット」の整備・配布
「熱中症患者情報」の収集、解析
「電磁界に係る冊子」の整備・配布

【一般競争入札・請負】

A.フジオffset(株)
3百万円

熱中症普及啓発関連資料増刷業務

【少額随意契約・請負】

B.日本エヌ・ユー・エス(株)
0.3百万円

一般環境中電磁界ばく露に係る情報収集及び冊子改訂

【直接経費】

C.事務費
2.8百万円

資料印刷、梱包発送等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.フジオffset(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	普及啓発資料印刷	3.0			
計		3.0	計		0
C.(株)コムラ					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	資料印刷	2.3			
計		2.3	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	フジオフセット(株)	熱中症普及啓発関連資料増刷業務	3	5	63%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	一般環境中電磁界ばく露に係る情報収集及び冊子改訂原稿作成	0.3	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コムラ	資料印刷(熱中症マニュアル等5点)	2.3	随意契約	-
2	朝日梱包(株)	梱包発送(熱中症環境保健マニュアル等5点)	0.5	随意契約	-
3	(有)タケマエ	購入(カードホルダー・11袋)	0.01	随意契約	-